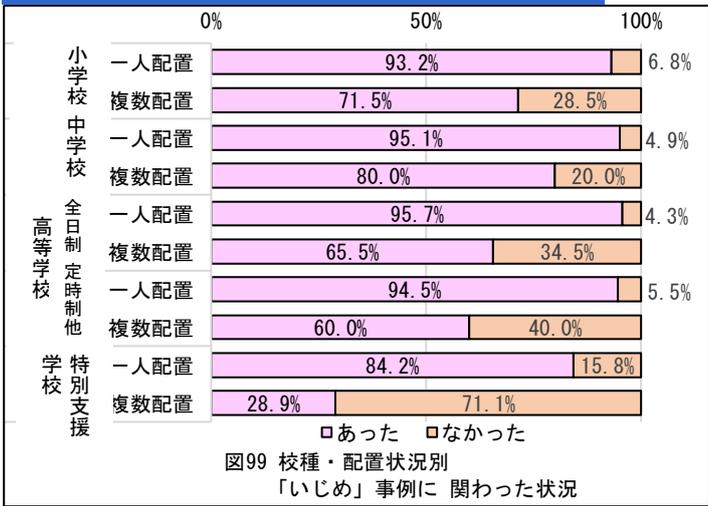


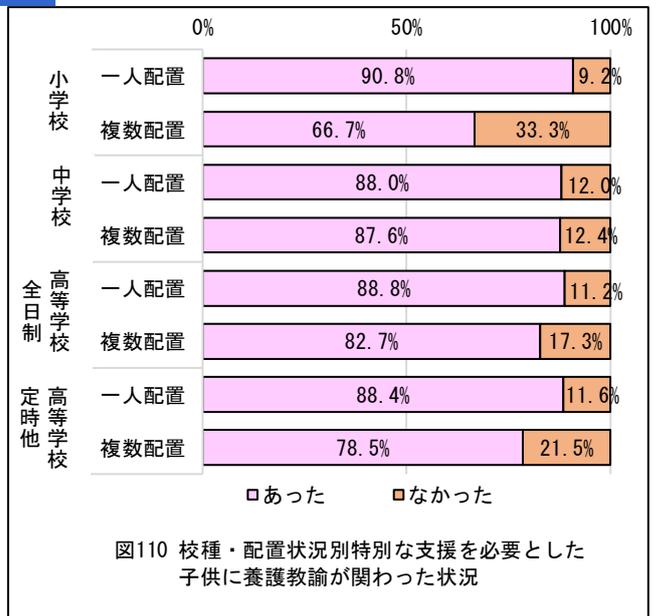
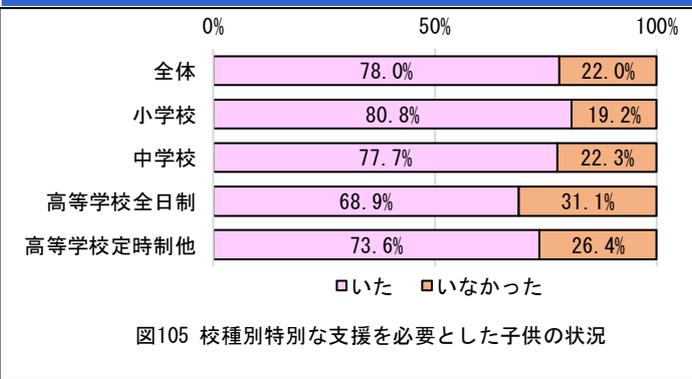
## 10 いじめについて（令和3年度分）



校種・配置状況別養護教諭が「いじめ（疑いを含む）」の事例に関わった割合は、全校種で「複数配置」に比べ、「一人配置」が高い。

校種別養護教諭が「いじめ（疑いを含む）」の事例に関わったきっかけの割合で最も高いのは、全校種で「本人の訴え」である。次いで、高等学校定時制他を除く全校種で「来室時の問診」、高等学校定時制他で「頻回来室」が続く。

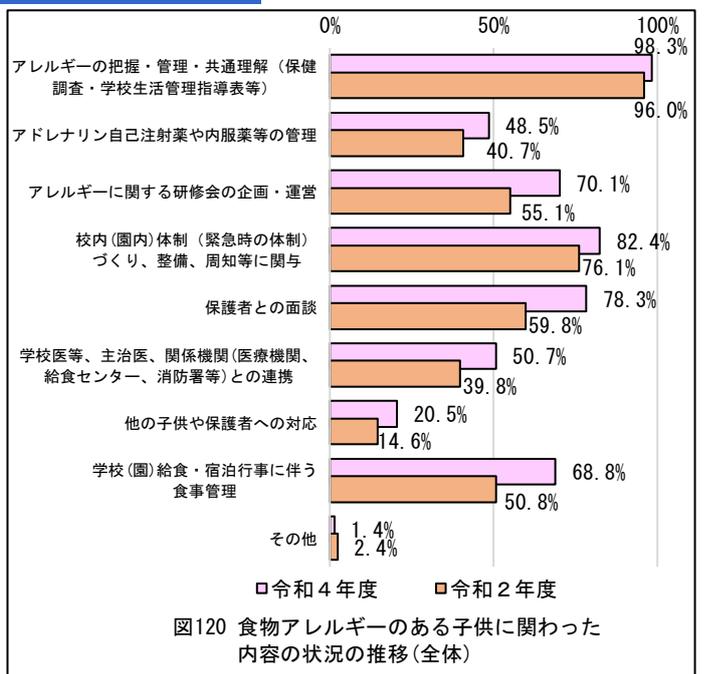
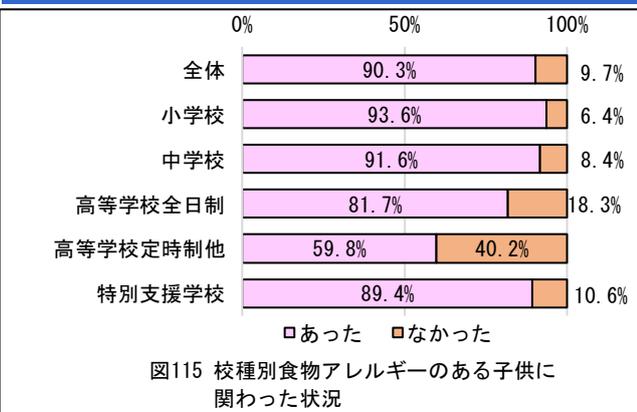
## 11 特別支援教育について（令和3年度分）



特別な支援を必要とした子供の割合は全校種で7割以上である。最も高いのは小学校、次いで中学校と校種が上がるごとに割合は低くなる。

全校種で「複数配置」に比べ「一人配置」の方が関わった割合が高く、小学校・高等学校定時制他の割合が高い。

## 12 食物アレルギーに対する対応について（令和3年度分）



食物アレルギーのある子供に関わった割合で最も高いのは小学校で、次いで中学校、特別支援学校と続く。子供の成長と共に割合は低くなる。

食物アレルギーのある子供に関わった内容の推移を前回調査結果と比べると、すべての項目で高くなっている。